

## 令和7年度 第1回千歳市廃棄物減量等推進審議会 結果概要

日時	令和7年5月22日(木)	開始	13:30	終了	14:50
場所	千歳市役所 議会棟 大会議室				
出席者数	委員16名中14名出席	会議の成立	成立		
	途中出席者	1名			
	途中退席者	1名			
事務局出席者	渡邊市民環境部長、倉重環境センター長  <b>【廃棄物管理課】</b> 太田廃棄物管理課長、浦川総務係長、櫻庭総務係主任、稲垣総務係主任 宮城建設計画係長、三浦施設係長  <b>【廃棄物対策課】</b> 片山廃棄物対策課長、甲斐廃棄物対策係長、長崎資源循環推進係長				
傍聴者	なし				
報道関係者	なし				

会議録（発言要旨） 別添のとおり

## 令和7年度 第1回千歳市廃棄物減量等推進審議会 会議録（発言要旨）

### 1 開 会

新しく減量審委員となった方の紹介と、4月の人事異動に伴い、環境センターに配属された職員を紹介した後、開会を宣言した。

### 2 会長挨拶

<要 旨>

今日はお忙しい中、減量審委員の皆様にお集まりいただき、ありがとうございます。

今回は、令和6年度の実績報告が中心になると伺っております。委員の皆様には、ご質問及びご意見を何卒よろしく申し上げます。

### 3 議 事

#### (1) 報告事項

##### ① 令和6年度千歳市廃棄物処理実績について（速報値）

事務局より資料に基づき説明。報告済みとなった。

《質疑等》

なし

##### ② 千歳市一般廃棄物処理基本計画進行管理

事務局より資料に基づき説明。報告済みとなった。

《質疑等》

(委 員)

事務局より基本計画の進捗状況について、毎年説明して頂いているが、もう少しかみ砕いたわかりやすい表現で説明してほしい。

(事務局)

毎年、年度当初の減量審で、計画の進捗状況を説明させていただいている。

市民の皆様には、分かりやすい表現を心掛けるよう十分注意しておりますが、改めてわかりやすさを意識した資料作成を心掛けます。

(委 員)

人口の増加について触れていないが、人口増加に伴い事業系一般廃棄物の増加があるのではないかと。特に半導体の工場建設において、ごみはできるだけリサイクルしていると話を聞いているが、一般廃棄物の増加があるというのは何故か。

また、人口増での集団資源回収について話を伺いたい。現在原油や資材の高騰が叫ばれている状況であるが、買取料金の見直しはないのか。

(事務局)

今回の事業系一般廃棄物が増加した要因として、半導体工場の建設とそれに関連する企業の建設にあり、工事をする際に最初の工程として発生する、樹木の伐採等を含む表土のすき取り物が環境センターや民間処理業者に事業系一般廃棄物として搬入されたものと考えております。その後、民間処理業者においては、搬入された樹木やすき取りものを木製チップや肥料などにリサイクルされております。

半導体工場建設に伴う人口増による廃棄物の増加は考えられることから、今年度、「第5次千歳市一般廃棄物処理基本計画」の見直しの中で検討していきます。その見直し作業の際には、集団資源回収の整理も含め、減量審委員皆様に審議をお願いします。

(委員)

脱炭素についての話を伺いたい。廃熱利用について、売電等を行い二酸化炭素の減量に取り組んでいるとのことであるが

- ① 欧州においては既に脱炭素の取組について、撤回している国々があるが、千歳市ではそれでも脱炭素の取組を進めるのかということ
- ② 売電による脱炭素については、道央廃棄物処理組合焼却施設を建設する際に発生した炭素の量と比較するのが正しいとらえ方ではないのかということ
- ③ 他にも、太陽光パネルでの発電による脱炭素化があるが、環境破壊やパネルのリサイクルについてはどう考えているのかということ

以上について、事務局の考え方を教えていただきたい。

(事務局)

今回の進捗状況の報告は、一般廃棄物処理基本計画に基づくものとなっております。委員からご意見のありました脱炭素については、大きな社会問題であると認識しており、本市においては、環境基本計画において取組を進めております。

この環境基本計画では、脱炭素の取組を進める地球温暖化防止や環境保全、自然共生、資源循環、環境教育の対策を行うこととなっており、脱炭素と資源循環は関連がありますことから、これから見直しを進める一般廃棄物処理基本計画において、ご意見をいただければと思います。

(委員)

昨年廃止した焼却処理場は、今後どうするのか。

(事務局)

焼却処理場の煙突については、今後、益々老朽化が進み、煙突内部の有害物質が周囲へ飛散し、環境汚染するリスクを回避するため、令和7年から8年の2年間で解体いたします。

また、環境センターの焼却処理場をすべて撤去するには、有害物が飛び散らないよう安全・安心に解体する必要がある、その費用について多額の費用が見込まれることから、国や北海道の補助金の活用など、有益な情報提供があるまで、残置する方向で考えております。

(委員)

最終処分場は、いつまで使えるのか。

(事務局)

環境センターには、第1から第3の最終処分場を設置しており、第2及び第3最終処分場については、これまで嵩上げ工事を実施し、全体で令和12年度まで埋立可能と試算しておりますが、令和6年度から、ごみ分別やごみ処理方法が変わったことから、基本計画の見直しの中で整理していきたいと考えております。

③ 第5次千歳市一般廃棄物処理基本計画の改訂について

事務局より資料に基づき説明。報告済みとなった。

《質疑等》

(委員)

計画については、民間への業務委託するのか。

(事務局)

計画の見直しについては、専門のコンサルタントへ業務委託をします。

#### 4 その他

(1) 廃棄物処理手数料の概要について

事務局より資料に基づき説明。報告済みとなった。

《質疑等》 なし

(2) 令和7年度審議会年間スケジュールについて

事務局より資料に基づき説明。報告済みとなった。

《質疑等》 なし

(事務局)

第2回千歳市廃棄物減量等推進審議会は7月31日(月)10時00分から、場所は本日の大会議室の予定です。

主な内容は、家庭廃棄物処理手数料の料金改定について、市長より諮問されることとなります。

第2回減量審で話し合った内容を諮問に対する回答として作成し、第3回減量審で

答申書としてまとめたいと考えております。その後、皆様からの承認をもって市長へ提出することとなります。

事務局からは以上です。

#### 4 閉 会

(会 長)

以上をもって、第1回千歳市廃棄物減量等推進審議会を閉会します。